

みずほCustomer Desk Report 2022/10/12 号 (As of 2022/10/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】	公示仲値		145.77	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD
TKY 9:00AM	145.69	0.9712	141.40	1.1079
SYD-NY High	145.89	0.9774	142.18	1.1180
SYD-NY Low	145.43	0.9670	141.00	1.0954
NY 5:00 PM	145.87	0.9706	141.60	1.0961
	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	29,239.19	36.31	日本2年債	▲0.0600%
NASDAQ	10,426.19	▲ 115.91	日本10年債	0.2500%
S&P	3,588.84	▲ 23.55	米国2年債	4.3120%
日経平均	26,401.25	▲ 714.86	米国5年債	4.1696%
TOPIX	1,871.24	▲ 35.56	米国10年債	3.9430%
シカゴ日経先物	26,355.00	▲ 315.00	独10年債	2.3030%
ロンドンFT	6,885.23	▲ 74.08	英10年債	4.4470%
DAX	12,220.25	▲ 52.69	豪10年債	3.9970%
ハンセン指数	16,832.36	▲ 384.30	USDJPY 1M Vol	11.99%
上海総合	2,979.79	5.65	USDJPY 3M Vol	11.49%
NY金	1,686.00	10.80	USDJPY 6M Vol	11.50%
WTI	89.35	▲ 1.78	USDJPY 1M 25RR	▲1.52%
CRB指数	281.96	▲ 1.10	EURJPY 3M Vol	13.48%
ドルインデックス	113.22	0.08	EURJPY 6M Vol	13.42%

東京	東京時間のドル円は145.69レベルでオープンすると高値圏で小確りと推移した。午前中には鈴木財務相の「万が一過度な変動があれば適切な対応取る」との発言もみられたが反応は限定的。午後に入り、米長期金利が一時4%を超えるなど高値水準になる中、ドル円は145.86まで上昇。同レベルでは為替介入の水準として意識され反落すると145.74レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.74レベルでオープン。ドル高基調は変わらず。ただ介入警戒感でドル円は上値重く145.50-78で推移し145.57レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.1018レベルでオープン。朝方の英雇用統計が堅調だったことや、英中銀が英国債の購入一時措置にインフレ連動債も含めるとしたことで英国債の下落が止まりポンドは反発。一時1.1102まで買われ1.1089レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は145円台後半でスタート。米長期金利が再び4%台に乗せる動きを眺めながら145.86まで上昇。しかし、先月の円買い介入前につけた高値(145.90)手前で伸び悩み、145.50近辺まで反落。鈴木財務相や神田財務官からの円安けん制も伝わっているが、市場の反応は限定的だった。その後、145.60近辺のレンジでもみ合い、145.57レベルでNYオープン。主要な米経済指標発表が予定されていない中、朝方は海外時間の流れを引き継ぎ145円台後半でレンジトレード継続。午後は安値145.43をつける場面もあったが、その後は米株売りを意識したリスクオフのドル買いが先行し、145.89まで上昇。しかし、介入前の高値として注目されている145.90レベル上抜けには至らず、終盤は高値圏で小動きとなり、結局、145.87レベルでNYクローズ。一方、海外市場のユーロドルは0.9700を挟んだ狭いレンジで推移し、0.9726レベルでNYオープン。海外時間に一時4%台をつけた米長期金利が3.9%を割り込む中、ユーロが買い戻され0.9774まで上昇するが、その後は米株安を受けてリスクオフのドル買いが強まり、午前中の上昇分を全て吐き出した。結局、0.9706レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・木村

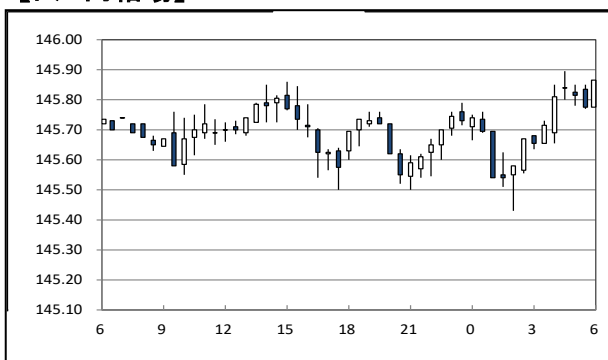
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月11日	15:00	英 失業率	9月 3.9%	-
	15:00	英 失業保険申請件数推移	9月 25.5k	-
	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	8月 5.4%	5.3%
10月12日	01:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	物価上昇率の目標2%を達成するのは2025年になる見込み	

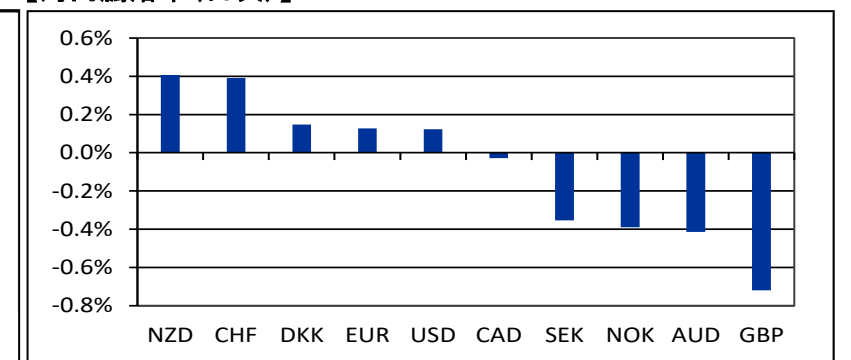
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月12日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 -0.1%/0.6%	-0.3%/1.1%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	8月 -0.1%/1.1%	0.1%/1.1%
	17:00	英 ハスケルBOE委員 講演	-	-
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 0.7%/1.5%	-2.3%/-2.4%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/8.4%	-0.1%/8.7%
	23:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
10月13日	00:00	欧 クノット・オランダ中銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-146.20	0.9650-0.9800	140.50-142.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は高値圏でもみあい推移。東京時間は145.69レベルでオープン。米長期金利が一時4%を超えるなど高値水準になるとドル円は145.86まで上昇。同レベルでは為替介入前の高値水準(145.90)として意識されると小幅に反落し145.74レベルで海外時間に渡った。海外時間に入り、145.43の安値を付ける場面もあったが底堅く、再度145.89まで上昇するも145.90を上抜けるには至らず、結局145.87レベルでクローズした。本日のドル円は明日発表される米9月CPIを控え様子見ムードの中、145円台後半で底堅く推移すると予想する。本日発表される米9月PPIが市場予想を上回れば、昨日と同様に為替介入前の高値水準を試す可能性も視野に入れる必要がある。ただ、昨日も鈴木財務官から「急激な為替変動に対して適切な対応を取る」との発言があったように、ドル円相場が急伸する場合は再び為替介入の警戒感が強まる為、上昇スピードは抑えられるだろう。